



開発部 部長 柴 光雄さん

マフラー開発に携わり約30年のスペシャリスト。長年の技術力と独自のアイデアで圧巻の高性能を実現する。「それぞれの車の持っている潜在的な性能を最大限に引き出すように開発をしています」。

記念すべきPBS-Sの第一弾としてリリースされるCHR／ハイブリッドやカローラクロス、レヴォーグ1.6／1.8用では、いずれも燃費改善率15%以上を達成。約10～15PSのパワーアップを果たしている。ガナドールの自信作、その実力は本物なのか？早速、インプレッションを開始だ。

低速トルクは純正の約2倍、15%以上の燃費改善を実現。カスタマイズの第一歩といわれるマフラー交換。しかしひと昔前のターボ車とは異なり、近頃のクルマはパワーアップしにくいと囁かれる。そんななか驚きの効果を謳うのが、ガナドールの新保安基準適合マフラー「パワーブーストシステムスーパー(PBS-S)」だ。なにせパワー&トルクの向上のみならず、大幅な燃費の改善まで果たすというから見逃せない。大きな特徴は、テールエンド内部に仕込まれたスバイラルフィン・ガラスウールを使用しないサイレンサーとの相乗効果で、排気の流れを高める効果があるという。と言うのは簡単でも、それを実現するのはたやすいことではない。ガナドールでは試作品を作ったのはシャーシダイナモ等でのテストを繰り返し、ようやく製品化にこぎつけた。開発期間は約1年、50～100通りの試作マフラーをテストしたというから尋常ではない。そこまでするのも、新型車に見合ったスポーツマフラーへと進化させるため。従来のパワーブーストシステム(PBS)よりもさらに志は高く、15%以上の燃費向上を目指しているという。

気品溢れるリアスタイルを構築

マフラー交換だけで理想的パワーアップ
馬力と燃費を大幅改善した

ポテンシャルアップの本格派

GANADOR
ガナドール

進化を遂げた最新マフラー「PBS-S」

POWER BOOST SYSTEM. SUPER

パワー・ブースト・システム・スーパー



問:マツショウ
☎048-935-1130
<https://www.ganador.co.jp>

IMPRESSION



アクセルを踏んだ瞬間から違いが分かるエキゾースト。燃費の改善率を確認するために、一般道や高速、峠道を含んだ約150kmの実走テストを必ず実施しているというガナドール。今回はカローラクロスハイブリッドを駆り出し、一般道と高速道路でインプレッション。ノーマルマフラーとPBS-Sを付け比べその差をチカラ付けた。

驚きだったのは、まさに走り出しの数メートルで違いが分かったこと。アクセルを軽く踏み込むだけで、クルマが力強く前に出る。試乗前はフィードバックの違いが分かるか不安もあったが、そんな懸念も吹っ飛んだ。モーターとエンジンの切り替えがスムーズなのもうれしい。そのあたりも考慮しながら車種ごとにチューニングしているとか。車速の上昇とともに心地良いマフラー音が耳に入ってくる。純正は静かゆえに不快なロードノイズが気になったが、PBS-Sは心地良いサウンドなので思わずアクセルを踏み込みたくなる。一般道、高速ともにその差は歴然。違うクルマに乗っているのではないかと思えるほど。マフラーチューニングの奥深さを実感した試乗となった。

C-HR・PBS-S (GVS-031シリーズ)

■価格:13万7500円~15万9500円 ■適合:C-HRハイブリッド(ZYX系) ■テールエンド:ポリッシュ仕上げ/チタニウム製ブルー発色 ■仕様:左右4本出し(センターパイプ付き) ■テール径:85φサークル ■パイプ径:50φ



左右4本出しテールの採用により迫力のリアビューを演出するPBS-Sマフラー。テール内部に仕込まれた渦巻き状のスパイラルフィンにより、排気を効率よく放出する。高性能の要となるサイレンサーはグラスウールレス仕様。内部構造には、独自のテクノロジーが盛り込まれる。高品質な仕上がりが。

最新シリーズ第1弾は C-HR用をスタンバイ!



テール部バリエーションは2種を設定

チタニウム製ブルー発色



テールカラーは2種類が用意される。チタニウム製ブルー発色タイプは、本物のチタン素材を採用した本格派。美しい焼き色も入っており、スポーティさを強調できる。

ポリッシュ仕上げ



さりげなくドレスアップしたい人にぴったり。さらなポリッシュ仕上げも設定。テール内部には独自のスパイラルフィンのぞいており、ただならぬ雰囲気だ。

右ダブル出しモデルも設定!

C-HR・PBS-S (GVS-030シリーズ)

■価格:8万2500円~9万3500円 ■適合:C-HRハイブリッド(ZYX系) ■テールエンド:ポリッシュ仕上げ/チタニウム製ブルー発色 ■仕様:右ダブル出し(センターパイプ付き) ■テール径:85φサークル ■パイプ径:50φ



シンプルに存在感を主張したいユーザー向けの、右ダブル出しモデルも設定。こちらも左右ダブル出しと同様にメイン50φ、テール85φを採用。パワー/トルクアップはもちろん、燃費改善も実感することが可能。

話題のSUVをはじめとした対応車種が続々デビュー!

新型カローラクロスもパワー&燃費性能がUP

[4本出しマフラー (GVS-055シリーズ)]



日常走行で多用する2000~3000rpmでのトルク差は実に約10kgf/m。低回転からトルクが立ち上がるので、どんなシチュエーションでも乗りやすさを実感できる。結果として、燃費改善率は15.9%に達している。

WEBでは音の試聴や最新情報を随時更新中!



ハイブリッド&ガソリンに対応予定!



左右出しのテールエンドにはスパイラルフィンが組み込まれる。バンパー形状によりテールの突出量も最適化されているので、美しいシルエットに仕上がります。

カローラクロス・PBS-S

■価格:13万7500円~15万9500円 ■適合:カローラクロス(ZVG系/ZSG系) ■テールエンド:ポリッシュ仕上げ/チタニウム製ブルー発色



中間パイプまで交換するフル交換タイプ。車種別に開発される角の取れた丸型サイレンサーは空気抵抗を低減する効果もある。細部まで独自のこだわりが満載だ。

レヴォーグ・PBS-S

■価格:11万6600円~12万7600円 ■適合:レヴォーグ(VN系/VM系) ■テールエンド:ポリッシュ仕上げ/チタニウム製ブルー発色



レヴォーグ用は左右出しで迫力のリアビューを構築。スポーティな印象がより強調されているのが分かる。

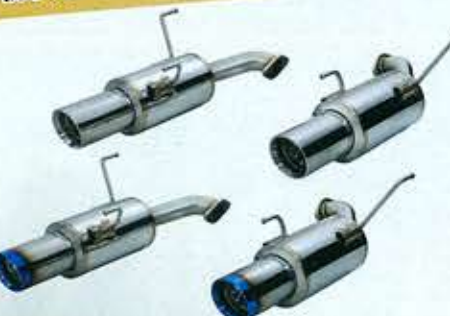
リアビースタイルで高性能を発揮する!

[左右出しマフラー (VRS-052シリーズ)]



レヴォーグ2.0の場合、従来品でも8.3psアップとかなりの効果だが、PBS-Sでは13.2psアップを達成とさらに進化を遂げた。しかも燃費改善率は15.1%だ。

初代から新型2代目も新設定!



レヴォーグ用には砲弾型サイレンサーを採用。シックなポリッシュテールと、スポーティなブルーテールを用意する。112φの大口径テールが、抜群の存在感を発揮してくれる。

パワー&トルクが向上 燃費改善率は15%以上!

[4本出しマフラー (GVS-031シリーズ)]



	走行距離(km)	給油量(L)	近接騒音(dB)	パワー(ps)	トルク(kgf・m)
ノーマルマフラー	151.9	7.57	74.0	136.5	26.1
ガナドール GVS-031シリーズ	151.9	6.52	84.0	146.5	31.2
ノーマル比	-	-	+10dB	+10.0	+5.1kgf/m

※近接騒音は2500rpmの測定値。

全域でパワー&トルクアップしており、ネガティブ要素は一切ない。特に注目したいのは、街中や高速での実用域である2500rpm前後のトルク差。純正マフラーの約2倍というから凄い。従来品よりもさらなるトルクの上乗せを果たしている。

純正カスタマイズ用エアロにも対応するラインアップ!

標準バンパー用はもちろん、ディーラーで購入可能な純正オプションエアロやGR専用バンパー、モデルスタやTRDなど、各エアロシリーズのバンパーに対応するPBS-Sもラインアップ中。

